

# 2011年度日本雪氷学会極地雪氷分科会

## オーガナイズドセッションおよび総会プログラム

日時：9月19日（月）17:00～19:00

場所：ハイブ長岡（長岡産業交流会館）C会場

・オーガナイズドセッション「極域における国内雪氷研究の潮流」：17:00～17:55

### 1. 北極圏における科学研究の推進

榎本浩之（極地研）

### 2. 極地雪氷と気候系との相互作用並びに極地雪氷研究の醍醐味

阿部彩子（東大）

概要：近年の気候変動に関する直接的な観測結果によると、一部観測網が希薄な地域があるものの、気候システムは温暖化を示している。また温暖化の進行とともに雪氷の消失が観測され、それはモデルからも予測されている。一方、今年5月に北極環境研究コンソーシアムが設立されるなど、国内では研究者間の連携や協力の体制が整備されてきた。本セッションでは、研究を後押しする体制並びに気候システムにおける極域雪氷の役割についての紹介をふまえて、今後の注目される研究対象課題について議論する。

・総会：18:00～19:00

### 1. 観測実施報告

- (1) 第52次南極観測夏隊報告 本山秀明（極地研）
- (2) NEEM（グリーンランド氷床掘削）活動報告 東久美子（極地研）

### 2. 観測計画報告

- (1) 第53次南極観測・雪氷部門実施計画報告 杉山慎（北大）
- (2) 科研費プロジェクト紹介及びグリーンランド予備調査報告 青木輝夫（気象研）

### 3. ワーキンググループ報告

#### (1) 南極観測将来計画検討 WG 報告

第VII期南極観測 6カ年計画案について 本山秀明（極地研）

#### (2) 極地雪氷用語解説 WG 報告

「雪氷辞典」の改訂について 亀田貴雄（北見工大）

### 4. 事業報告

#### (1) 国際対応幹事報告 植竹淳（極地研）

#### (2) ホームページ対応幹事報告 小嶋真輔（東洋製作所）

#### (3) 会計報告 杉山慎（北大）

### 5. その他

#### (1) 北極圏科学観測ディレクトリーの紹介 榎本浩之（極地研）

#### (2) 北極雪氷検討 WG の提案 杉浦幸之助（海洋研究開発機構）

以上.